

エコプロ2018

SDGs 時代の環境と社会、そして未来へ

期間中取材のお願い

2018年12月6日(木)～8日(土) 10:00～17:00
東京ビッグサイト 東ホール 入場無料(登録制)

<http://eco-pro.com> ※ウェブサイトにて詳細情報をご覧ください。

一般社団法人産業環境管理協会と日本経済新聞社は、**12月6日(木)～8日(土)の3日間、東京ビッグサイトにおいて「エコプロ2018 [第20回]」を開催します。**

「SDGs (Sustainable Development Goals)」は2015年に国連総会で採択された、環境問題をはじめ世界が直面する課題に対して2030年までに達成すべき17の国際目標です。開催20回目を迎えるエコプロは“SDGs時代の環境と社会、そして未来へ”をテーマに、企業、自治体、NPO、大学など538社・団体が出展、3日間で17万人の来場を見込み、**日本を代表する環境総合展示会として持続可能(サステナブル)な社会の実現を提案します。**

SDGsから新素材、環境配慮型製品まで「エコプロ2018」の見どころを紹介!

【TOPICS①】産官学民で進展するSDGs・食品ロス削減への取り組み

環境や社会、ガバナンス(統治)への配慮を投資の判断基準として重視するESG投資の広がりを背景に、企業はサステナビリティ(持続可能性)を重視した経営を加速しており、SDGsを経営戦略上の主軸と位置づけた事業再構築や新規市場開発への動きも活発化してきました。一方、自治体主導によるSDGsを地域活性化と結びつけた取り組みも進展しています。本展のテーマゾーン「SDGs EXPO 2018」では、産官学民それぞれの立場からの取り組みや事業展開を紹介。食品ロス削減などに関する主催者展示も行います。

【TOPICS②】植物由来の新素材“セルロースナノファイバー”の最前線を紹介

軽さと強度を併せ持つ、植物由来の新素材“セルロースナノファイバー(CNF)”に関する特別展「**第3回ナノセルロース展**」をエコプロ展と同時開催します。CNFは量産効果による自動車や住宅分野などへの用途拡大により、2030年には国内1兆円の関連市場が期待されています。

【TOPICS③】プラスチック代替素材・製品やレジリエンス対策、フェアトレード商品まで、注目の出展者、製品・サービスをピックアップ!

本展には、生態系への影響が懸念される海洋プラスチック問題に対応した生分解性プラスチックや代替機能製品をはじめ、社会実装への取り組みが進むCNFの現状やレジリエンス対策、フェアトレード商品まで、いま注目の製品・サービスが多数展示されます。

【本リリース、広報用素材、会期中の取材に関する問い合わせ先】

共同PR内 エコプロ2018 広報事務局：高橋(速)、横山(史)、中里、宇津木
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

TEL：03-3571-5238 FAX：03-3571-5380 e-mail：ecopro-pr@kyodo-pr.co.jp

「エコプロ 2018 SDGs 時代の環境と社会、そして未来へ」の見どころ

【TOPICS①】産官学民で進展する SDGs・食品ロス削減への取り組み

■SDGs EXPO 2018 [東 3 ホール]

クリーンエネルギーの実現、資源や商品の生産・消費、気候変動対策といった世界共通の 17 の目標である SDGs。国の施策や地方創生につながる持続可能な地域の取り組みなど、産官学民それぞれの立場から SDGs を事業と結び付けて紹介します。

日本郵政グループは、森づくりなど次世代への環境整備や地域社会の活性化に向けた自社の取り組みを紹介。**インター・ドメイン**の「体力発電」は人々の運動エネルギーで電力を生み出し可視化・共有化、健康と環境貢献の両立やフィットネス事業との

ビジネス連携も提案します。**関西 SDGs プラットフォーム**は関西地域の企業や団体が推進する SDGs への取り組みを紹介。あわせて使用済小型家電から東京オリンピック・パラリンピック 2020 大会での使用メダルを製作する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」にも参加し、会期中ブースに携帯電話・スマホの回収ボックスを設置します。また、下記の企画展示も実施します。



■SDGs×地方創生 [東 3 ホール 小間番号：3-902]

地方自治体による SDGs の達成に向け取り組む SDGs 未来都市や、環境問題や超高齢化等の課題解決に向け取り組む環境モデル都市・環境未来都市、官民連携の場として設立した地方創生 SDGs 官民連携プラットフォームのメンバーが、地方創生を切り口に先進的な取り組みを展示やステージで紹介します。SDGs 未来都市に選定された**北海道札幌市、神奈川県、静岡県静岡市、福岡県北九州市**をはじめとする 13 団体・企業が展示やステージで各地域の動向を紹介します。

■食品ロス削減！もったいないチャレンジ [東 3 ホール 小間番号：3-046]

現在の日本では年間 646 万トンが、まだ食べられるのに廃棄される「食品ロス」になっていると言われています。国民一人当たり換算すると毎日茶碗 1 杯分（約 139 グラム）を捨てていることになり、これは世界中の飢餓で苦しむ人々に向けた世界の年間食料援助量である 320 万トン（平成 26 年）の約 2 倍に相当します（消費者庁ホームページ「食べ物のムダをなくそうプロジェクト」より）。

本コーナーでは、食品ロス削減に取り組む自治体や企業、団体とともに、

食品ロスの現状や対策、生活者が連携してできることを紹介します。**野菜長持ち ツイスターロック**は、ねじるだけで簡単に使用できる鮮度保持袋。**NEC** は食品ロスの課題である「需要と供給のミスマッチ」に着目した製造から販売までの需給最適化プラットフォームを紹介。本コーナーのアンケートへご回答いただいた来場者には、もれなく食品ロス削減につながる商品（食品）をお持ち帰りいただきます（協力：極洋、食品ロス・リポーンセンター、ニコニコのり、防災バンク、ヤマサ醤油）。

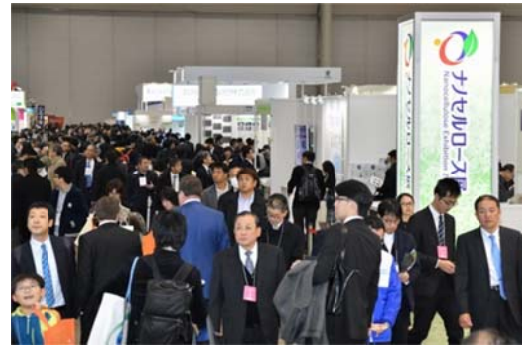


【TOPICS②】植物由来の新素材「セルロースナノファイバー」の最前線を紹介

■ 第3回ナノセルロース展 [東4ホール]

主催：産業技術総合研究所ナノセルロースフォーラム、日本経済新聞社

鋼鉄の5分の1の軽さで5倍の強度を持ち、再生可能な植物由来の新素材「セルロースナノファイバー」の特別展をエコプロにおいて同時開催します。今年は製紙各社による量産開始が相次いでおり、コスト低減により自動車や住宅などへの用途拡大が期待されています。本展には25社・機関が出展し、研究開発から事業化、製造技術から用途開発までをわかりやすく紹介します。また、展示会場内のステージでは下記セミナーも実施します。



【第3回ナノセルロース展セミナー】

会場：ナノセルロース展ステージゾーン(東4ホール NC-01)

受講料：無料（事前参加申込が必要です）

◇12月6日（木）10:30～16:05

『ナノセルロース研究最前線』

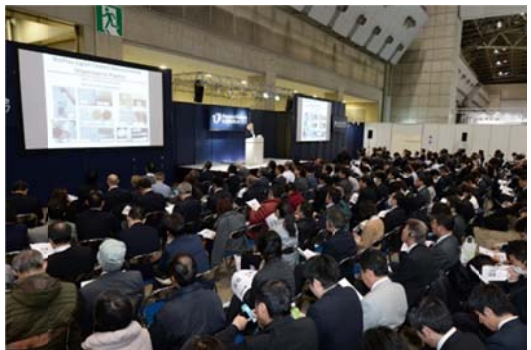
5 省庁が進めるナノセルロース関連 17 プロジェクトの研究進捗・成果を報告します



◇12月7日（金）10:20～16:40

『加速するナノセルロースビジネス』

ナノセルロースを製造・利用するナノセルロースフォーラム会員15社が、自社の最新技術を紹介します



◇12月8日（土）10:20～12:05

『社会実装に向けた高機能リグノセルロースナノファイバー開発

(京都プロセス)の最新状況 ～NEDOプロジェクトの紹介～』

◇12月8日（土）13:00～16:40

『TAPPI Nano 2019 プレセミナー 世界で進むナノセルロースの研究開発』

2019年6月3日から、世界最大のナノセルロースに関する国際会議「2019 International Conference on Nanotechnology for Renewable Materials」(TAPPI Nano 2019)が幕張メッセで開催されます。国際会議の共同議長を務める講師らが、世界で急速に進むナノセルロースの研究開発状況について講演します(日英同時通訳あり)。

【TOPICS③】エコプロ 2018 注目の出展者、製品・サービスをピックアップ!

※以下は出展者のニュースリリース等から作成しています。報道の際には掲載内容を各社へご確認ください。

プラスチック代替材料（マイクロプラスチック対策）

王子ホールディングス（小間番号：4-008）

欧州連合(EU)では海洋生物保護のため、使い捨てプラスチック製品の使用を禁止する法案を提出するなど、プラスチックに替わる製品の需要が世界で高まっています。本展では同社が進める「生分解性プラスチック」の開発技術（写真左）や、現在プラスチックが主に使用されている包装材料の機能を紙製品に置き換えた代替バリアー性素材を用いる各種製品（写真右）を紹介し、また、森林保全に取り組みながら、植えて、育てて、活用して、森を未来につなげ、気候変動問題に貢献している活動について紹介します。



三菱ケミカルホールディングス（小間番号：4-025）

同社は「KAITEKI Value for Tomorrow」をスローガンに KAITEKI 実現に貢献する製品・材料を提供しています。本展では植物由来の原料を使用する生分解性プラスチック「BioPBS」や、「強度は鉄の10倍、重さは4分の1」といわれる炭素繊維など、日常生活の中にある身近な「KAITEKI」を感じられる展示を予定しています。

セルロースナノファイバー（CNF）ほか素材

環境省 ナノセルロース・ヴィークル・プロジェクト（小間番号：4-018）

環境省は、平成28年度から「NCVプロジェクト」（NCV: Nano Cellulose Vehicle、ナノセルロース自動車）を立ち上げ、京都大学を代表とした産学官合わせて20以上の機関で構成されるコンソーシアムにより、自動車分野でのCNFの社会実装に向けた評価事業を行っています。本プロジェクトは平成31年度までの4か年計画で、自動車の省エネ化・軽量化による二酸化炭素排出削減に向けた社会実装事業です。本展ではCNFの含まれる自動車部材を組み付けたモックアップ（模型）の展示と、全参画機関によるポスターセッションによりこれまでの成果を対外的に発表します。

京都大学生存圏研究所／京都市産業技術研究所（小間番号：4-NC04 *ナノセルロース展）

セルロースナノファイバー入り発泡成形材料をミッドソールに使ったランニングシューズを本展にて初披露します。また、セルロースナノファイバー入り樹脂コンポジット射出成型品で車などの一部となる「エンジンカバー」や「ドアトリム」を紹介します。

大王製紙（小間番号：4-NC08 *ナノセルロース展）

同社は意匠性が要求される化粧品や塗料、インキなどの用途やフィルム、ディスプレイなど光学系材料における要望に応えた、高い透明性を有するCNFの製造技術「亜リン酸エステル化法」の開発に成功（画像左が開発品、右は同社従来品）。エコプロ展ではCNF水分散液（通常品、高透明度品）、乾燥体、成形体及びセルロース複合樹脂ペレットのサンプルを整え、今年の9月より供給が開始された「ELLEXX（エレックス）」、そして、これからのCNFの可能性について紹介します。



レジリエンス（自然災害対策）

ニシム電子工業（小間番号：3-022）

今年7月、岡山県倉敷市真備町豪雨災害の復旧活動時に活躍した水洗トイレ「TOWAILET（トワイレ）」を出展します。新しい浄化処理技術（特許出願中）と再生可能エネルギー蓄電システムを搭載し、ライフライン（電源・下水）が不要な、置くだけ手間いらずの「完全自己処理型水洗トイレ」です。平時は公共施設に、災害時には避難所に移設可能になるスマートデザインシェルターです。

「第1回エコプロアワード」表彰製品



EcoPro Awards

エコプロアワードは、2004年～2016年に実施された旧「エコプロダクツ大賞」の理念や実績を継承しながら、様々な社会経済の変化を視野に入れて刷新したエコプロ展主催者（一般社団法人産業環境管理教会）が運営する新たな表彰制度です。本アワードは製品、サービス、技術、ソリューション、人物などで「環境への配慮」が要素として含まれるものを募集・表彰対象とし、産業分野などは特に問いません。第1回目となる今回は、最も優れた4件を農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞として表彰し、大臣賞に次いで優れた5件をエコプロアワード優秀賞に、審査委員会が推薦する7件を奨励賞に選定しました。受賞案件は「エコプロアワード」ブース（小間番号：5-006）で紹介されるほか、下記のブースで受賞製品が展示されます。

Industria（小間番号：5-004）

「第1回エコプロアワード」で環境大臣賞を受賞した、ろ過装置「FILSTAR」を展示します。産業廃棄物となるフィルターが不要で、メンテナンスも用意であり、ランニングコストを低く抑えることが期待できます。この装置に化学的処理工程を加えれば、より高度な水処理・水の浄化（上水化や水の改質）を行うことも可能です。



福市（小間番号：3-034）

表参道ヒルズや伊勢丹新宿店でもイベント展開された、プルタブを再利用して作ったバッグをエコプロに初出展します。この製品は、缶飲料などを開けるための引き手「プルタブ」を再利用して作られた、スタイリッシュなバッグです。一見プルタブに見えないこの製品はフェアトレードの原則で取引され、「第1回エコプロアワード」の優秀賞を獲得しました。



SDGsへの取り組み

パナソニック（小間番号：5-027）

昨年発表した「環境ビジョン2050」で目指す、「使う」<「創る」エネルギーの考え方を訴求。「Energy Travel」をコンセプトに、エコでスマートな生活空間、エコでスマートな移動・輸送を、プロジェクトンマッピングなどを交えて展示、社会課題に向けた取り組みをSDGsと関連付けて紹介します。

三菱電機グループ（小間番号：5-026）

「大気・大地・水のために、私たちができること、三菱電機のエコチェンジ」をテーマに、「宇宙」から地球を俯瞰し、「大気」「大地」「水」とあわせた4つのステージで環境問題への取り組みを紹介。豊かな社会構築とSDGs達成に貢献する先端技術や製品も紹介、「宇宙ゾーン」では森林分布や災害状況などを観測する「だいち2号」や、洪水を引き起こす台風などを観測する「ひまわり8号・9号」を紹介する予定です。

太平洋セメント（小間番号：5-023）

高度な環境技術により、循環型社会の構築と地球環境の保全へ取り組む同社は、パネル展示や映像を通して身近なごみがセメントとしてリサイクルされていることや、セメントが出来る仕組みについて紹介します。ブースを「SDGs/脱CO2の取組み」「リサイクル技術の紹介」「セメント工場の紹介」「環境事業紹介」「手作りセメント工作教室」の5つのコーナーに分け、子ども達も参加して学ぶことができます。

積水化学工業（小間番号：2-020）

同社では「Safe&Sound：安心・安全で、環境にやさしく、サステナブルなまち」のコンセプトのもと、同社工場跡地（埼玉県朝霞市）に分譲戸建住宅、商業施設、集合住宅などを複合したまちづくり「SEKISUI Safe & Sound Project」を進めています。本展ではこのプロジェクトのほか、同社と東京書籍が連携して開設した学びサイト「EduTown SDGs」などを紹介します。



食品ロス削減

社会貢献型フードシェアリングプラットフォーム「KURADASHI.jp」(小間番号：3-046 FL-01)

環境省主催「第6回グッドライフアワード」において環境大臣賞(企業部門)を、また一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及促進協会主催「ソーシャルプロダクツ・アワード2017」において優秀賞を受賞した日本初・日本最大級のフードシェアリングプラットフォーム「KURADASHI.jp」がエコプロに登場します。これは、さまざまな理由によって廃棄される予定となった商品をメーカーから出品依頼を受け、再流通させることで新たな価値を生み出すショッピングサイトです。フードロス大国と言われる日本で、買い物を通してフードロスの削減に貢献できるプラットフォームを紹介します。

AQUA(小間番号：5-012)

家庭用白家電やコインランドリー機器・サービスを提供する日本生まれの家電ブランドであるAQUAは、鮮度を保ち長持ちさせ、食品ロスに貢献する冷蔵庫を展示します。当日は実際に冷蔵庫で鮮度を保った新鮮な食材を試食していただく予定です。また、現在市場が拡大し再び注目を浴び始めている、コインランドリービジネスやIoTランドリーについても紹介します。

廃棄物処理

共英製鋼/東京鉄鋼(小間番号：3-004)

共英製鋼は、日本独自の製鋼用電炉を用いた廃棄物の無害化溶融処理システムを紹介します。また、全国展開店舗閉店処理コーディネートや、産業廃棄物処理システムについて紹介します。東京鉄鋼は、700件以上のお客様から実績評価を得ている医療廃棄物の処理や、複合廃棄物の処理について紹介します。2次廃棄物を出さない方法や、無害化する方法にぜひご注目ください。

体験コーナー/アトラクションなど

横浜油脂工業(小間番号：6-003)

落書きのない街づくりのために日々活動されている自治体やボランティアの方々に向けて、作業負担を少しでも軽減することをテーマに開発された、水系ペイント除去剤「ケスラー」の落書き&消し体験(見学)を実施します。体験(見学)は12月06日(木)~12月8日(土)の各日、11:00~11:30と14:00~14:30の2回、実施します。



バンダイナムコグループ(小間番号：6-022)

デジタル化によるアニメ作成現場で進展している紙の削減に関する取り組みを紹介します。小中学生にもなじみの深いアニメーション制作の体験を通して、環境負荷軽減について理解を深めるブースを展開します。体験コーナーは、①アニメ作成におけるペーパーレス化の取り組み体験、②ガチャポンの空のカプセルを利用した「カプセルはんこ」体験(6・7日)、③ユニバーサルデザインをテーマにした「オセロ」の体験(8日)など、大人から子どもまで楽しめる内容です。



環境・SDGs 先進企業からお楽しみステージまで 「エコプロ 2018」会場内セミナーへ多彩な講師が登場

■エコ&SDGs ステージ（東 6 ホール）の主なプログラム

12月6日（木）

10:30-11:10 「帝人グループのCSR マテリアリティとSDGs」

帝人 グループ執行役員 CSR 管掌 高倉 信行 氏



帝人 高倉氏

11:30-12:10 「エプソンの目指すイノベーションと乾式オフィス製紙機 “PaperLab”」

セイコーエプソン 執行役員 技術開発本部副本部長 市川 和弘 氏



セイコーエプソン 市川氏

13:00-14:30 「SDGs をどう伝えるか？」

基調講演：グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 業務執行理事 後藤 敏彦 氏
 パネル講師：フジテレビジョン 放送文化推進局長（CSR 担当） 小田多恵子 氏、朝日新聞社 マーケティング本部長 石田 一郎 氏、博報堂 DY ホールディングス グループ 広報・IR 室 CSR グループ推進担当部長 川廷 昌弘 氏、モデレーター：大和総研主席研究員／グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 理事 河川 真理子 氏



AQUA 森田氏

15:30-16:10 「生活者に寄り添うエコへの取り組み」

AQUA 副代表 執行役員 森田 昌治 氏



リコー 加藤氏



ライオン 濱氏

12月7日（金）

10:30-11:10 「脱炭素の世界潮流とリコーの環境経営」

◆リコー 執行役員 サステナビリティ推進本部 本部長 加藤 茂夫 氏

11:30-13:10 「健康経営をイノベーションの力に。健康投資市場創出」

- ◆経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課長 西川 和見 氏
- ◆ルネサンス 健康経営推進部 次長／健康経営研究会 健康経営会事務局 樋口 毅 氏
- ◆スポーツ庁 国際課長 桑川 泰一 氏

13:30-14:30 「「攻め」のSDGs を！」

- ◆慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 委員長、環境情報学部教授 村井 純 氏
- ◆慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授 蟹江 憲史 氏
- ◆TREE 代表取締役 水野 雅弘 氏
- ◆キャスター／慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授 国谷 裕子 氏

16:00-16:40 「人々の幸福を追求する LION のサステナビリティ活動」

◆ライオン 代表取締役 社長執行役員 最高経営責任者 濱 逸夫 氏

12月8日（土）

10:30-12:00 「よしもとSDGs花月 in エコプロ 2018」

- ◆特別ゲスト：国連広報センター所長 根本 かおる さん
- ◆SDGs 漫才：ジャルジャルさん、尼神インターさん、田畑藤本さん、デニスさん
- ◆SDGs コント：次長課長 河本さん、くまだまさしさん、レギュラー 松本さん、もう中学生さん、はんにゃ 金田さん、ニューヨークさん、3時のヒロイン かなでさん
- ◆MC：キクチウソツカナイ。さん

13:30-14:30 「いよいよ自治体も動き出したSDGs！

生物多様性は17ゴールすべてに関わるぞ！

もっと身近に生物多様性を、さかなクンと一緒に考えよう！！

- ◆東京海洋大学名誉博士／客員准教授 さかなクン
- ◆フリーアナウンサー 奥村 奈津美 さん
- ◆一般社団法人 CEPA ジャパン 代表 川廷 昌弘 さん



さかなクン



奥村 奈津美 さん



川廷 昌弘 さん

同時開催展・シンポジウムのご案内

日経 SDGs フォーラム シンポジウム

日時：2018年12月7日（金）10:00-17:10 会場：東京ビッグサイト 国際会議場

日本経済新聞社グループは、SDGsの達成に向けた企業の取り組みを支援するプロジェクト「日経 SDGs フォーラム」を始動、企業による先進的な取り組みを各メディアで幅広く伝えています。本フォーラムの第2回シンポジウムを、エコプロ20周年記念として開催。中西宏明・経団連会長やペドロ・コンセイソン・国連開発計画（UNDP）戦略政策ユニット長、本田桂子・世界銀行グループ多数国間投資保証機関（MIGA）長官 CEO など、政府関係者や学識経験者、企業経営者らが、SDGs 達成への課題などを議論します。

- * 受講無料、参加申し込みは11月28日（水）17時締め切り、応募多数の場合は抽選
- * 空席がある場合のみ会場にて当日受付を行います
- * プログラムなど詳細はホームページ（<https://events.nikkei.co.jp/8476/>）をご参照ください

◎インフラ維持管理に関する展示会&カンファレンス

社会インフラテック 2018

会期：2018年12月6日（木）～8日（土） 会場：東京ビッグサイト 東1ホール

主催：インフラメンテナンス国民会議、日本経済新聞社

公式サイト：<http://messe.nikkei.co.jp/in/>

インフラ維持管理者と民間企業・技術とのマッチングを目的に、インフラ老朽化対策の技術・工法・材料をはじめ、センシングやIoT、ビッグデータ、移動体（ドローン、ロボット）などの先端技術を活用したインテリジェント・インフラが集結する、これまでにないイベントです。入場無料（登録制）。

【本展の主催者企画コーナーについて】

“観て、触って、試して”をコンセプトに、インフラメンテナンス・土木の仕事を手近に感じていただく主催者企画エリアを設置。「インフラメンテナンス写真展」のほか、ドローン・VR（バーチャルリアリティー）を使ったインフラ点検作業体験やドボク模型体験などの企画を実施します。学生から大人まで、楽しく・分かりやすく、インフラメンテナンスの魅力をお伝えします。



◎次世代の移動・交通ビジネスに関するスペシャルイベント

TRAN/SUM

会期：2018年12月6日（木）～8日（土） 会場：東京ビッグサイト 東1ホール・会議棟

公式サイト：<https://transum.jp/>

高齢社会や地方の過疎化、人手不足、交通事故の増加など新たな社会課題を背景に、本イベントは AI やビッグデータ解析、自動運転、ブロックチェーンといったテクノロジーを活用した「新たな交通・移動と物流、スマートシティ」をテーマとしています。未来の交通や乗り物、新しい都市空間などを予感させる展示や、ヒトやモノ、そしてデータの移動がもたらす新しいビジネスを探ります（会議棟プログラムへの参加は有料となります）。

SYMPOSIUM (シンポジウム) [会場：会議棟]

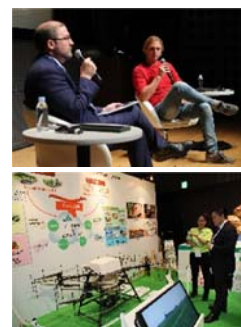
国内外の専門家、スタートアップ創業者、企業リーダー、政策当局者による世界水準のコンテンツを提供。テーマを掘り下げるワークショップも開催します。

PITCH RUN (ピッチラン) [東1ホール]

国内外スタートアップの PITCH RUN を開催します。

LAND (展示) [東1ホール] (入場無料)

企業やスタートアップによる、モビリティ・都市計画など最先端の技術、サービス、ビジネスモデルなどを展示します。



開催概要

- ◆名称：エコプロ2018 [第20回] SDGs時代の環境と社会、そして未来へ
- ◆会期：2018年12月6日(木)～8日(土) 10:00～17:00
- ◆会場：東京ビッグサイト 東ホール
- ◆入場料：無料(登録制) ※現在、ホームページ (<http://eco-pro.com/2018/>) で事前来場登録を受付中
- ◆主催：(一社) 産業環境管理協会、日本経済新聞社
- ◆後援：内閣府、外務省、経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省、消費者庁、(一社) 日本経済団体連合会、(公社) 経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所、(国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構、日本貿易振興機構(ジェトロ)、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、埼玉県教育委員会、神奈川県教育委員会、千葉県教育委員会 [順不同]
- ◆協力：(公社) 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会、グリーン購入ネットワーク、(公財) 日本環境協会、全国連合小学校長会、日本私立小学校連合会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国国立大学附属学校連盟、全国小中学校環境教育研究会、私立大学環境保全協議会、(公社) 全国工業高等学校長協会、全国商業高等学校長協会、全国農業高等学校長協会、(公財) 日本適合性認定協会、(一社) 情報通信技術委員会、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン、関西 SDGs プラットフォーム、日本健康会議 [順不同]
- ◆メディア協力：日経 ESG 経営フォーラム、日経ビジネス、日経 ESG、ecomom、教育新聞、日本教育新聞 [順不同]
- ◆来場対象：◎環境・SDGs・ESG 事業に携わるビジネスパーソン
【業種】製造、流通、建設・不動産、電気・ガス・石油、運輸・物流、情報通信、金融・保険、農林・水産、流通・サービスなど
【職種】経営者・役員、経営戦略部門、SDGs 関連部門、調達・購買部門、環境管理部門、生産・品質管理部門、研究開発部門、広報・CSR 部門、社会貢献部門、マーケティング部門など
○官公庁・自治体(環境部門、SDGs 部門、購買部門、地域振興部門など) ○各業界団体、地域産業・商工団体
○国会議員、海外視察団、在日大使館など ○インバーター、オピニオンリーダー、インフルエンサー
◎環境問題・SDGs へ意識・関心の高い生活者
○ファミリー、主婦・主夫、アクティブシニア、学生・児童 ○環境 NPO・NGO、市民団体、SDGs 関連団体
○学校・教育関係者(ほか)
- ◆来場者数：170,000 人(見込み) [2017 年来場実績：160,091 人]
- ◆展示規模：538 社・団体/1,295 小間 [2017 年出展実績：616 社・団体/1,414 小間]
- ◆来場者からのお問い合わせ先：フリーダイヤル 0120-261-122 (9:00～18:00 土日祝を除く)
※12月14日までのご案内です。

👉**企画の詳細や最新情報のチェックは公式ウェブサイト**で → <http://eco-pro.com/>

公式ウェブサイトで、出展製品・サービスの情報や各出展者のプレゼンテーション予定などを検索することができます。来場前にチェックいただければ、「エコプロ2018」をより深く、より分かりやすくご覧いただけます(出展者により随時、情報が更新されます)。

👉**公式の Facebook や Twitter でも最新情報を発信しています**

エコプロの公式 Facebook ページ (@ecoproexpo) や、Twitter 公式アカウント (@ecopro_jp) で、最新イベント情報や、関連の環境情報などを発信しています。

👉**プレス取材及びご来場の事前登録について**

東5ホール商談室(1)のプレスルームにてプレスバッジ・報道資料をお渡しいたします。

【本リリース、広報用素材、会期中の取材に関する問い合わせ先】

共同 PR 内 エコプロ2018 広報事務局：横山(史)、高橋(速)、中里、宇津木
TEL：03-3571-5238 FAX：03-3571-5380 e-mail：ecopro-pr@kyodo-pr.co.jp
【会期中の問い合わせ先】(12月5日(水) 14:00以降～12月8日(土) 17:00まで)

プレスルーム 東5ホール商談室(1) 共同 PR 内 エコプロ2018 広報事務局
TEL：03-5530-1604